

東松島市

復興まちづくり推進員だより

一般社団法人 東北圏地域づくりコンソーシアム



私たち復興まちづくり推進員が、東松島市で行っている活動を、市内外の皆様に幅広く知って頂き、共に歩いていくために、『東松島市復興まちづくり推進員だより』を毎月発行しています。

野蒜地区高台移転懇談会 開催

これまで全体会や説明会に参加できなかった方を対象に、託児付きでお茶を飲みながらざっくばらんに自分たちの街に対する意見を語り合える場として、1月14日にグリーントウンやもとあおぞら集会所で2回、17日にひびき工業団地仮設集会所で2回、午前と夜の計4回の懇談会を開催しました。

初めて話し合いの場に来た方、みんなの想いを聞きたくて来た方、お店を経営している方、お子さん連れのお父さん・お母さんも参加して下さいました。

懇談会では、復興まちづくりに対する想いや期待、わからない事、心配な事、不安な事で、幅広い意見を聞くことが出来ました。その一部をご紹介します。

<移転先の宅地について>

- ・境で争いが起こらない様にコンクリートやブロックなどで境界を明確にしてほしい。
- ・定期的に造成地の見学会をしてほしい。

<産業について>

- ・商店街を考慮しておらず立地等に不満がある。
- ・まちができないと商売も成り立たない。続かないと意味が無い。

<コミュニティについて>

- ・単身世帯に声を掛けあえるコミュニティを形成してほしい。
- ・繋がりがあから野蒜を選んだ。
- ・移転先では近所が誰か解らず不安だ。

<早く移転したい>

- ・野蒜だけ置いていかれているように感じる。
- ・あと4～5年も待てず若い世代が流出し、年配の方が増えてしまう。

<新しいまちづくりについて>

- ・子供や孫の未来を考えて意見を出して欲しい。
- ・立体的な模型等で土地・まちのイメージをつくと想像しやすい。
- ・高台移転者と災害公営入居者が一緒に協議すべきである。
- ・現地再建者も交えて全体会をすべき。

<懇談会について>

- ・もっと早くから、このような場が欲しかった。
- ・説明会等遠くて出られないので、仮設の集会所で助かる。
- ・このような会で話を聞いて安心できた。

(一部抜粋)

今回頂いた意見の回答を市と協議の上、お示ししたいと思います。今後も皆さんの新しいまちづくりについての想いや期待を気軽に語れるような場を作りたいと考えています。



■1月の活動

●第9回ママサロン

子育て世代のお母さん方が交流を図り、まちづくりを考える場として継続的に開催しております。29日には、今年の抱負とママサロンに期待する事を伺いました。マイホームを建てたい、風邪をひかせず元気に育てたい、といった抱負が上がりました。また、収納・片付けのコツを知りたい、運動をしたい、パソコンを習いたいとの意見を頂きました。その後は仙台弁カルタをし、面白い方言に笑いながら楽しみました。



●お茶会支援

赤井と大曲のお茶会を支援しております。仮設・みなし仮設や地域住民の交流と情報共有の場として開催されています。赤井は毎月1回、大曲では毎週木曜日に、いろいろな催しが行われています。「たくさんの人と交流できて嬉しい」「お茶会が楽しみ」といった声が聞かれ、来る時に突いてきた杖を忘れて帰るほど元気になるお茶会です。これからも皆さんとの交流を大切に、活動していきたいと思っております。



●災害公営住宅進捗状況

東松島市赤井川前二
集合住宅二階建て



◇H26年4月16戸入居開始予定



← 東松島市赤井川前四番
左) 集合住宅二階建て
右) 集合住宅平屋建て

◇H26年4月38戸入居開始予定

この他、子育て支援（大曲まちづくり協議会ふれ愛部会主催）の活動支援、まちづくり整備協議会への参加、各種イベント運営協力を実施しております。

<http://hmms0311fm.da-te.jp/>

東松島 復興まちづくり推進員

検索



～復興まちづくり推進員事務所のご紹介～

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム
東松島市復興まちづくり推進員

事務所：東松島市蔵しっくパーク内（テレワーク3）

東松島市矢本字北浦25番地

電話：0225-90-3571 FAX:0225-83-8577



※当法人は、東松島市復興まちづくり支援業務を東松島市より受託しております。